

連携

栗原市立栗原中央病院

広報誌 平成26年2月 発行

編集：広報委員会、地域医療連携室

第49号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。この年末年始は開催が決定した東京オリ

ピックの話題がマスコミを賑わしました。今年は前回の東京オリンピックから50年の節目の年です。当時小学校低学年だった私もテレビ中継に夢中だったことを昨日のこのように覚えていますし、翌年、上映された映画「東京オリンピック」を新築の電力ビルで観たことや、そのビルの立派さに驚いたことを思い出して懐かしくなりました。

ここからは私事で恐縮ですが、お付き合いください。私にとって50年前はもう一つの忘れえぬ出来事がありました。それは祖父母のなかで唯一生存していた母方の祖父が亡くなったことです。仙台市中心部の商家の楽隠居として元気で寺社の世話役的な活動を生きがいとしていたのですが、ある寒い日の朝、布団の中で昏睡状態で発見されました。65歳でした。近くの開業医が往診に来てくれましたが、救急車を呼ぶでもなく、点滴をするでもなく、「後3日くらいが山でしょう。」と言われて帰られたと記憶しています。伯父や母たちもそれを当然の如く受け止め丁寧にお礼を言っていました。今考えると何と自然だったことか、あるいは軽かったことかと思えますし、明治時代、いや江戸時代と変わらないとも思いますけれども、優しく、それなりに威厳が

地域医療連携室顧問
副院長 佐藤 修一

あった祖父の面影だけしか私には残ってません。翻って現在は可能性を追究することが強く求められており、分子生物学や再生医療のすさまじい進歩によりその傾向はますます進むと考えられ、医療にかかわる人にとっては生きにくい世の中になっていくだろうと勝手に思っています。どんなに医療が進歩しても地道にお互いの信頼を大事にして地域での連携を深め患者さん方のニーズを少しでも汲んでいければというのが当院の連携室のモットーです。

今年は消費税が上がり医療の効率性が強く求められるでしょうし、地域の出来事としては大崎市民病院が新築移転します。当院の経営にとってはプラスの要素は多くない見通しです。あの財務相印刷局でさえ紙幣の発行能力に余裕があるので外国の紙幣を印刷することを模索するそうです。当院もベッドに余裕があることが多いです。今年も根気強く前方支援はもとより後方支援にも注力してまいり存存ですので、市の公共財として利用していただければ幸いです。できる範囲内での地域完結を目指すために何卒よろしくご願ひ致します。このような駄文にお付き合いいただきありがとうございました。最後になりますが、皆様にとってよい一年となりますよう祈念いたします。

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>

地域医療連携室（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336



紹介患者受診依頼票の変更について



当院では、病病、病診連携を積極的に推進していくために、他医療機関からの紹介患者様の予約をお受けしております。

このたび、下記のとおり、診療、放射線検査の「紹介患者受診依頼票」を変更いたしました。内容をご確認くださいませようお願いいたします。

◎3枚複写用紙から1枚用紙になりました。

病院のホームページからダウンロードできます

◎紹介目的は、選択式から記入式に変更になりました。

◎内視鏡検査には、患者様の安全のため、原則、一度診察を受けてから、ご予約をとり、次回以降の実施となりました。

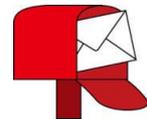
◎CT・MRIの造影検査には、患者様の安全のため、腎機能検査（血清クレアチニン値）のご評価の上、ご紹介いただきますようお願いいたします。



内科外来診療体制（初診）一覧について

これまでは、栗原市内の各医療機関の先生方へ「内科初診担当医一覧表」を送付しておりましたが、「外来診療体制表」の内容と重複しておりますので、今後は「外来診療体制表」のみお送りいたします。ご理解・ご協力お願い致します。

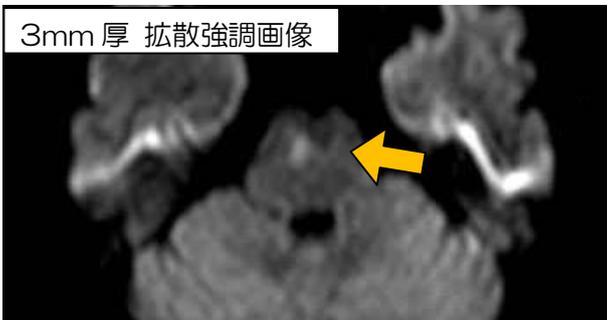
ご不明な点がございましたら、地域医療連携室へお問合せ願います。



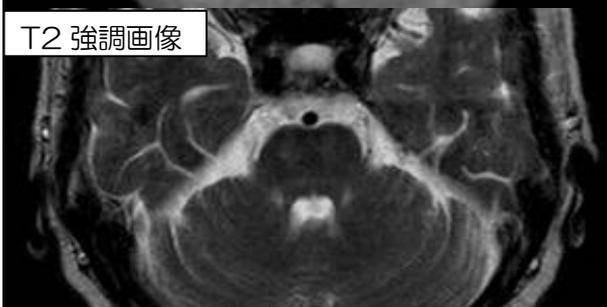
シリーズ

見える！診える！！栗中のMRI - その2 -

3mm厚 拡散強調画像



T2 強調画像



脳幹梗塞(拡散強調画像)

通常の6mmスライス厚では描出できないが、3mmスライス厚の拡散強調画像で描出した症例です。脳幹梗塞は発症から6時間以内においても播種による高信号域を同定できないことがありますが、当院ではthin sliceの拡散強調画像を用いることでその描出能の向上を図っています。



小さな病変もみつかります。お申込みお待ちしております。



第2回 連携のつどい“よらいん” 開催報告

テーマ「その人が望む最期を迎える場所の提供に、どこまで応えられるか」

平成25年12月10日（火）に第2回連携のつどい“よらいん”を開催しました。今回は「その人が望む最期を迎える場所の提供に、どこまで応えられるか」のテーマのもとに栗原市の登録医と保健医療介護福祉関係者約100名が集まり意見交換を行いました。



はじめに、当院の中鉢誠司副院長より「終末期の医療について」と題し、がん患者様とご家族様に寄り添う医療とはどうあるべきかを講話いただきました。



問題提起では、院内外からキャストをそろえて寸劇を披露しました。認知症があり誤嚥性肺炎で入退院を繰り返してしまう患者様に対して、医療者側の気持ちと家族の気持ちとがなかなか一つにならないとき…。参加者がそれぞれの立場で意見を出し合い「その人が望む最期を迎える場所の提供にどこまで応えられるか」を考えました。結論の出せるテーマではなく、今回のように他職種が寄り集まって知恵を出し合うことこそが最も大切であることは、参加したすべての方が抱いた思いではないでしょうか。

最後に当院から素敵な歌のプレゼント！阿部副看護部長のファミリー“阿部シスターズ”と一緒に生伴奏にあわせて「サンタが町にやってくる」他2曲を参加者の皆さんと歌いながら、これからも連携を取りあうことを確認し閉会となりました。



学会・研修会・論文発表

★World J Gastroenterol 12013 19 : 5798-5805

『Criteria for the diagnosis and severity stratification of acute pancreatitis』

…Makoto Otsuki, Kazunori Takeda, Seiki Matsuno, Yasuyuki Kihara, Masaru Koizumi,

Masahiko Hirota, Tetsuhide Ito, Keisho Kataoka, Motoji Kitagawa, Kazuo Inui, Yoshifumi Takeyama

★肝胆脾 67(5) : 747-766, 2013

座談会『IPMN/MCN 診療の転換期—日本の成績が示すものは—』

…(司会)小泉 勝, 多田 稔 (東京大学消化器内科), 真口宏介 (手稲溪仁会病院), 田中雅夫 (九州大学臨床・腫瘍外科)

★日本糖尿病学会第51回東北地方会 2013.11.9 一仙台市—

『栗原中央病院における糖尿病地域病診連携』

…鈴木慎二, 吉越仁美, 木田真美, 佐藤修一, 小泉 勝

『特殊な症例におけるリナグリプチンの効用』

…木田真美, 小泉 勝, 佐藤修一, 佐藤晃彦, 鈴木慎二, 吉越仁美

★第3回東北放射線医療技術学術大会 2013.11.2-3 福島市—

『MRIにおける傾斜板法を用いた2D撮像の解像特性の検討』

…○吉田 礼¹, 引地健生¹, 町田好男² 栗原中央病院¹, 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻²

★放射線科の吉田診療放射線技師が、日本放射線技術学会誌において研究発表したところ、優れた研究発表と評価され、公益社団法人日本放射線技術学会東北支部会長より学術奨励賞を受賞しました。

学会誌第68巻11号

『傾斜板法を用いた3D撮影のスライスプロファイル計測に対する一考察』…吉田 礼

がんサロン『ほっとくりはら』



がんサロンはじめました



“ほっとくりはら”は、がんと向き合っている方、ご家族の方の交流の場です。悩みを話したり、聞いたり、泣いたり、笑ったり。

同じ立場の方と話してみたい方、どうぞ、お気軽にご参加ください。平成26年1月16日(木)には、1回目のがんサロンを行いました。次回もおいしいお茶を用意して、お待ちしております。

開催日：2月20日(木)、3月20日(木)

時間：13:30から15:00まで

場所：栗原中央病院 外来棟2階相談室
申込みは不要です。



お問合せ 栗原中央病院 地域医療連携室
0228-21-5330 (代表)



クリスマスコンサート



今年も栗原中央病院のクリスマスコンサートが平成25年12月19日(木)に外来ホールにて開催しました。

くりくり保育園の園児によるダンスやハンドベルの演奏はとても可愛くて終始笑顔が絶えない時間でした。また築館高校の吹奏楽部の演奏も迫力があり、素晴らしいかったです。



患者様のところに響くすてきなコンサートでした。



診療状況報告

◎内視鏡検査等状況

(単位:人)

	上部消化管				下部消化管			ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクトミー 他			
10月	202	18	5	6	126	25	16	398	
11月	180	11	4	6	96	26	16	339	
12月	157	15	5	8	62	22	21	290	

◎手術実施状況

(単位:人)

区分	全身麻酔				腰椎麻酔				局所麻酔						合計
	外	皮	整	計	外	皮	整	計	外	眼	皮	内	整	計	
10月	27	0	15	42	1	0	10	11	2	25	3	0	1	31	84
11月	29	0	5	34	0	0	8	8	3	21	4	0	6	34	76
12月	17	0	11	28	1	0	9	10	6	18	3	0	3	30	68

◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位:人)

区分	外 来		入 院		時間外計	時間内計	救急車搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
10月	198 (43)	14	58 (29)	32	256 (72)	46	118
11月	208 (52)	15	69 (31)	26	277 (83)	41	124
12月	288 (69)	11	69 (44)	22	357 (113)	33	146

編集後記



寒中お見舞い申し上げます。みなさんいかがお過ごしでしょうか。連携室のメンバーは新年を迎え気持ち新たに日々の業務に励んでおります。今年1年たくさんの方がうまく(午年だけに)いのように連携してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。